

論 文 要 旨

学籍番号	80933464	氏 名	服部 隆尚
論文題目： 個人情報流出のセキュリティを勘案したクラウドコンピューティングの評価			
<p>(内容の要旨)</p> <p>近年、サービス形態の多様化によって情報システムは複雑化し、システムの開発や保守、運用管理のコストが爆発的に増加している。情報システムのコスト削減可能なサービス提供形態としてクラウドコンピューティングが注目されているが、積極的な採用には至っていないのが現状である。そのため、クラウドコンピューティングの採用に関する効果を定量的に評価しそのメリットを明確にする必要がある。</p> <p>従来研究では、クラウドコンピューティングの評価をする際には、実コストを比較するものや、企業の規模や仕事の重要度をもとに行っているものが見られる。しかしながら、クラウドコンピューティングの採用にとって一番重要なファクターはセキュリティのリスクであり、これを考慮することは避けて通れない。</p> <p>本研究では、セキュリティに着目し、クラウドコンピューティングに特化した個人情報漏洩のリスクをコストの観点で定量化し、クラウドコンピューティングの評価を行う。また、クラウドコンピューティング活用の促進のため、定量化したリスクを補償するサービスモデルを提案する。</p> <p>評価はクラウドコンピューティングの配置モデル毎にリスク要因の発生確率とそれに伴う損害額からリスクを算出し、従来のシステムコストと比較することによって行う。また、リスクに対する保険料を決定し、同様にして評価を行う。</p> <p>評価の結果、個人情報漏洩のリスクを勘案した場合においても、取扱う情報の件数、機微情報度・本人特定容易度といった情報の質、企業の社会的責任度・事後対応評価の内容によっては、十分なコスト削減効果を得られることが明確になった。それに加え、クラウドコンピューティングの各配置モデルにおいて、より効果的な選択をすることが可能となった。つまり、個人情報漏洩のリスクを勘案したクラウドコンピューティングの評価を行う場合は、予め取扱う情報を精査することによって、企業のニーズにあった選択が可能であることがわかった。また、リスクを補償するサービスモデルについても、検討の余地は十分にあることがわかった。</p>			
キーワード (5語) クラウドコンピューティング、セキュリティ、個人情報漏洩、リスク、コスト			